

宅配弁当の選び方や活用方法などを在宅ケア目線で紹介するイベント 宅配弁当の品評会「宅1グランプリ」優勝 お弁当だけじゃない“おせっかいサービス”が評価され1位に

高齢者専門宅配弁当サービスを展開する株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋洋）が運営する高齢者専門宅配弁当「宅配クック 123（ワン・ツウ・スリー）」が、新宿食支援研究会主催の「宅1グランプリ」で4月16日に優勝いたしました。



「宅1グランプリ」表彰の様子

◆お弁当だけじゃない、食支援のサポーター

「宅1グランプリ」は宅配弁当の選び方や活用方法、見守りやソーシャルネットなど、在宅ケアの目線で紹介するものです。新宿を中心に医療・介護・福祉の専門職が集まる新宿食支援研究会（宅1グランプリ事務局）では、ケアする宅配弁当の品評会イベント「宅1グランプリ2022」を開催。今回は業界4社が出展し、食支援の専門家3名による試食・評価と、オンラインで参加した視聴者による投票アンケートでグランプリを決定しました。

「宅1グランプリ」では、各社がお弁当のラインナップや、注文・配達方法を発表します。「宅配クック 123」は、配達時の簡単なお手伝いに加えて服薬確認など“おせっかいサービス”の実施や、年3回行う認知症予防のノベルティのお渡し、お弁当と一緒にお届けする介護用品のサービスをアピールしました。評価者である薬剤師からは「服薬の確認など、実際に声かけしてもらっただけでも高齢の方は飲み忘れを防げたりする。とてもありがたいことだ」、言語聴覚士からは「容器に関しては、宅配クック 123 の容器は小さいスプーンなどでも全てのおかずがすくいやすく、相当な工夫を感じた」という現場目線の意見をいただきました。

今後も、評価者からいただいた意見やアピールしたサービスの良さを伸ばして、全国の高齢者にお弁当をお届けします。

◆今日も利用者に「会いに行く」配達ではない日本全国で地域の高齢者見守り

高齢者専門宅配弁当「宅配クック 123」は、現在全国で約 350 店舗展開しており、月間約 300 万食を提供しています。店舗では、在宅の高齢者を中心に、宅配時の手渡しによる見守り・安否確認を創業時より実践しており、昼食・夕食を別々に届け 1 日 2 回訪問することで、より顧客に近い存在となるべく努めています。また、お届けの際に倒れているなどの異常が発見された場合には、速やかにケアマネジャーやご家族と連動する地域密着型の独自のサービスを展開しています。利用者は、おかずのみ（540 円～・税込み）とごはんつき（594 円～・税込）を



選択可能とすることで、ごはんを炊く・よそうといった自分でできることは自分でしていただく形態になっており、高齢者の自立した生活を促しています。食事の内容は全て管理栄養士が監修しており、高齢者の健康に配慮した「普通食」はたんぱく質がしっかり摂れる献立になっており、その他にも活動的な方向向けの「健康ボリューム食」、噛む力・飲み込む力が弱った方向向けの「やわらか食」「ムースセット食」、食事制限がある方には「カロリー・塩分調整食」「たんぱく・塩分調整食」、透析治療中の方には「透析食」、消化不良や消化器系の手術後「消化にやさしい食」など高齢者の生活や状態に合わせたバラエティー豊かな食事を提供しています。

【会社概要】

- 会社名： 株式会社 シニアライフクリエイト
代表： 代表取締役社長 高橋 洋
本社： 東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F
TEL. 03-5427-3981
ホームページ： <http://slc-123.co.jp/>
設立： 1999 年 12 月
資本金： 28,000 万円
事業内容： 1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック 123」フランチャイズ本部の運営
2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営
3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫倶楽部」の運営
4) 高齢者施設向厨房受託事業「結の台所」の運営
5) 個人向通販事業「健康直球便」の運営

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 シニアライフクリエイト

担当：波瀬・鈴木

TEL : 03-5427-3985 FAX : 03-5427-3987